

## 専攻科デザイン専攻授業科目

グローバル特論	160
Global English	161
地域課題解決研究Ⅰ（PBL）	162
地域課題解決研究Ⅱ（PBL）	163
リーダーシップ論	164
デザイン表現Ⅰ	165
デザイン表現Ⅱ	166
デザイン研究Ⅰ	167
デザイン研究Ⅱ	168
Webデザイン特論	169
プロダクトデザイン特論	170
映像音楽研究	171
メディアアート研究	172
修了研究	173

## 学修成果（8つの力）

本学は、学生が卒業までに獲得することが期待される知識、技術、態度などの能力を「学修成果」として、次のように表現しています。

(1)態度・志向性	①勤労観	働く意義を理解し、リーダーシップをもって物事に取り組むことができる。
	②リーダーシップ	
(2)汎用的能力	③教養	社会人にふさわしい教養やコミュニケーション能力を身につけている。
	④コミュニケーション能力	
(3)専門的知識・技能	⑤専門分野の知識・技能	デザイン・ビジネス・音楽分野の知識・技能を身につけ、新しい価値を創造できる。
	⑥創造力	
(4)総合的な学習経験と創造的思考力	⑦課題解決力	課題を発見して解決する力や、広い視野で変化に適応する力を身につけている。
	⑧変化への適応力	

### I. 修了認定・修了証書授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

以下に示す目標とする学修成果を身につけ、所定の在学期間を満たし、基準となる単位を修得した者に対して、修了を認定し、修了証書を授与します。

- (1) 働く意義を理解し、リーダーシップをもって物事に取り組むことができる。
- (2) 社会人にふさわしい教養やコミュニケーション能力を身につけている。
- (3) デザイン・ビジネス・音楽分野の知識・技能を身につけ、新しい価値を創造できる。
- (4) 課題を発見して解決する力や、広い視野で変化に適応する力を身につけている。

科目名	グローバル特論 (10 単位)	講義	専攻科 デザイン専攻	前期	担当者	小野 隆洋 (実務経験)			
ナンバリングコード	JA-L301-000								
修了要件	選択								
授業のテーマ	海外での研修を通したグローバル社会で求められるコミュニケーション能力の育成								
授業概要	この授業は事前指導、海外研修、事後指導で構成されています。英語運用能力と同時に発信力、傾聴力、柔軟性、規律性、そしてストレスコントロール力を養います。								
達成目標	学修成果：コミュニケーション能力、専門分野の知識・技能、創造力、リーダーシップ、変化への適応力				科目 DP：(2)				
					DP 番号	(1)	(2)	(3)	(4)
	1. 海外研修の目的と意義を説明することができる。					○		◎	
	2. 英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。						◎		○
	3. 他の人と協力して課題に取り組むことができる。						○		◎
4. 研修で学んだ内容を英語でプレゼンテーションすることができる。						◎	○		
履修条件・注意事項	海外研修を成功させるためには事前の準備が大切です。事前指導での準備状況が不十分な場合は単位が認定されないことがあります。単位認定の対象となる海外研修プログラムについては、授業担当者に確認してください。また渡航前の手続きが必要です。事前指導を受けずに海外で研修を受けても単位認定は行われませんので注意してください。 授業の実施方法：①面接授業のみ								
授業計画	1. 授業についての説明 (目標 1,2,3) 2. 事前指導の演習① (目標 1,2,3) 3. 事前指導の演習② (目標 1,2,3) 4. 事前指導の演習③ (目標 1,2,3) 5. 事前指導の演習④ (目標 1,2,3) 6. 海外研修 (研修先は各学生が決定する) (目標 1,2,3) 7. 海外研修 (研修先は各学生が決定する) (目標 1,2,3) 8. 海外研修 (研修先は各学生が決定する) (目標 1,2,3) 9. 海外研修 (研修先は各学生が決定する) (目標 1,2,3) 10. 海外研修 (研修先は各学生が決定する) (目標 1,2,3) 11. 海外研修 (研修先は各学生が決定する) (目標 1,2,3) 12. 海外研修 (研修先は各学生が決定する) (目標 1,2,3) 13. 研修内容報告 (プレゼンテーション)・質疑応答 (目標 1,2,3,4) 14. 研修内容報告 (プレゼンテーション)・振り返り (目標 1,2,3,4) 15. まとめ・到達目標の確認 (目標 1,2,3,4)								
アクティブ・ラーニング	グループワークと発表を中心とした授業を行う。								
成績評価基準	態度と意欲を重視した評価を行う。 ①事前・事後指導への取組：(30%) ②レポート：(40%) ③プレゼンテーション：(30%)								
フィードバックの方法	事前・事後指導は受講生の発表等が中心となります。 授業担当者は受講生のパフォーマンスの向上を促すためのフィードバックを文字モードまたは音声モードで提供します。								
時間外の学習について	予習：事前研修内の指示に従って予習に取り組んでください。(各回 90 分程度) 復習：授業内で授業後の課題が出されます。次の授業までに準備しておいてください。(各回 90 分程度)								
教材にかかわる情報	授業内で必要な資料を配布する。								
担当者からのメッセージ等実務経験について	政府派遣の在外研修員経験：海外での生活、外国人とのコミュニケーションについて講義を行います。								

科目名	Global English (2単位)	講義	専攻科 デザイン専攻	前期	担当者	尊田 望 (単独)
ナンバリングコード	JA-L311-000					
修了要件	選択					
授業のテーマ	グローバルな英語、コミュニケーション能力、自己表現					
授業概要	グローバルな英語にゲーム感覚で触れながら、日常生活や地球社会に関する様々なトピックに関する実用的なコミュニケーション能力を身に付ける。					
達成目標	学修成果：コミュニケーション能力、教養、リーダーシップ、変化への適応力	科目 DP : (2)				
		DP 番号	(1)	(2)	(3)	(4)
	1. 世界中の多様な人たちの話す英語に慣れる。			◎		
	2. 間違いを恐れずに進んで英語を使い、コミュニケーションを取ろうとする。		○	◎		
3. 与えられたテーマについて国際的な文脈で他者と会話や意見交換ができる。		○	◎		○	
履修条件・注意事項	授業の実施方法：①面接授業のみ					
授業計画	1. Introduction to Global English (目標 1,2,3) 2. Travel abroad: world geography & cultures (目標 1,2,3) 3. Food in the world (目標 1,2,3) 4. Music & movies in the world (目標 1,2,3) 5. Work (目標 1,2,3) 6. Marriage & family life Numbers (目標 1,2,3) 7. Japan: culture and geography (目標 1,2,3) 8. Mid-term project/exam (目標 1,2,3) 9. Global community: environmental challenges (目標 1,2,3) 10. Sports (目標 1,2,3) 11. Numbers (目標 1,2,3) 12. Beliefs: religion & philosophy (目標 1,2,3) 13. Study abroad (目標 1,2,3) 14. Future & happiness (目標 1,2,3) 15. Review & summary (目標 1,2,3) Sports in the world					
アクティブ・ラーニング	ペアワークまたはグループワーク及び発表を中心とした授業を行う。					
成績評価基準	評価の方法：授業演習 20% (関心・意欲・態度)、プレゼンテーション 20% (知識・理解・思考・判断・技能・表現)、宿題 20% (知識・理解・思考・判断)、中間試験 20% (知識・理解・思考・判断・関心・意欲・技能・表現)、期末試験 20% (知識・理解・思考・判断・関心・意欲・技能・表現)					
フィードバックの方法	授業開始時に前回の授業の振り返りを行う；(教員) 宿題を評価し、返却する；(履修生) 授業後にふり返りコメントを提出する。					
時間外の学習について	予習：授業内で指定された課題をした上で授業に臨むこと。(各回 90 分程度) 復習：授業内で発表した内容や学んだことについて振り返りをしておくこと。(各回 90 分程度)					
教材にかかわる情報	Nozomu Sonda 著 English Four Skills with Three Pillars of Fluency, Accuracy and Meaning (One World International) ISBN : 4-948773-12-3 C34					
担当者からのメッセージ等実務経験について	英語はグローバルなコミュニケーションのツールです。世界中の多様な背景の人たちが使っています。誰でも参加できる世界です。恐れずに楽しく使ってみましょう。注：対面授業を基本としますが、状況によっては遠隔授業を実施する場合がありますので、念のためにネットワーク環境を整えておいてください。					

科目名	地域課題解決研究 I (PBL) (2単位)	演習	専攻科 デザイン専攻	前期	担当者	長田 和美(実務経験) 澄重 成記(実務経験) (複数)	
ナンバリングコード	JA-S361-000						
修了要件	選択						
授業のテーマ	PBL、課題発見力、課題解決力、チームワーク、組織で働く力、合意形成力、コミュニケーション能力、リーダーシップ						
授業概要	地域企業や自治体が抱える課題に対してグループで解決策を提案し、解決に向けて実践する。						
達成目標	学修成果：リーダーシップ、創造力、課題解決力、変化への適応力					科目 DP：(4)	
		DP番号	(1)	(2)	(3)	(4)	
	1. 連携先(企業・自治体)の意向を理解して、目標を設定できる。				○	◎	
	2. ヒヤリングや調査を通して現状を正しく把握し、課題を定義できる。				○	◎	
	3. 課題解決に向けたアイデアを発案できる。				○	◎	
	4. 互いに協力して、計画的に作業を進めるとともに状況に応じて臨機応変に行動できる。	○	○			◎	
5. リーダーとして働きかけ、互いの意見を理解して合意形成ができる。	○	◎			○		
履修条件・注意事項	授業の実施方法：①面接授業のみ						
授業計画	1. ガイダンス (目標1、5) 2. テーマ説明 (目標1、4、5) 3. 目標設定 (目標1、4、5) 4. 現状把握(1) ヒヤリング (目標2、4、5) 5. 現状把握(2) 調査 (目標2、4、5) 6. 現状把握(3) 情報共有 (目標2、4、5) 7. 課題抽出(1) (目標2、4、5) 8. 課題抽出(2) (目標2、4、5) 9. 課題定義(1) (目標2、4、5) 10. 課題定義(2) (目標2、4、5) 11. アイデア検討(1) (目標3、4、5) 12. アイデア検討(2) (目標3、4、5) 13. 解決策の選定 (目標3、4、5) 14. 中間報告会の準備 (目標4、5) 15. 中間報告会の振り返り (目標4、5) ◎定期試験(中間報告会)						
アクティブ・ラーニング	ペアワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション						
成績評価基準	①レポート(40%)：意欲・関心、思考・判断を測定 ②課題(30%)：表現・技能、思考・判断を測定 ③プレゼンテーション(30%)：意欲・関心、知識・理解、技能・表現を測定						
フィードバックの方法	課題を返却						
時間外の学習について	予習：次回の授業に向けて、必要な調査や制作を行う(各回60分) 復習：授業後にチームと自分自身の活動を振り返り、次回に向けた改善策を検討する(各回30分)						
教材にかかわる情報	テキスト：最新ビジネスマナーと今さら聞けない仕事の超基本、石川和男、朝日新聞出版 参考書：特になし 参考資料：特になし						
担当者からのメッセージ等実務経験について	企業経験を活かして、社会人感覚と実践力を育成する授業を行います。						

科目名	地域課題解決研究Ⅱ (PBL) (2単位)	演習	専攻科 デザイン専攻	後期	担当者	長田 和美 (実務経験) 澄重 成記 (実務経験) (複数)			
ナンバリングコード	JA-S362-000								
修了要件	選択								
授業のテーマ	PBL、課題発見力、課題解決力、チームワーク、組織で働く力、合意形成力、コミュニケーション能力、リーダーシップ								
授業概要	地域企業や自治体が抱える課題に対してグループで解決策を提案し、解決に向けて実践する。								
達成目標	学修成果：リーダーシップ、創造力、課題解決力、変化への適応力					科目 DP : (2)			
		DP 番号	(1)	(2)	(3)	(4)			
	1. アイデアを具体化する方法を決定し、行動計画を立案することができる。				○	◎			
	2. 作業を分担して、試作ができる。				○	◎			
	3. 評価方法を検討し、評価結果をもとに改良できる。				○	◎			
	4. 互いに協力して、計画的に作業を進めるとともに状況に応じて臨機応変に行動できる。	○	○			◎			
5. リーダーとして働きかけ、互いの意見を理解して合意形成ができる。	○	◎			○				
履修条件・注意事項	地域課題解決研究Ⅰ (PBL) を履修することが望ましい 授業の実施方法：①面接授業のみ								
授業計画	1. アイデアの具体化 (1) (目標 1、4、5) 2. アイデアの具体化 (2) (目標 1、4、5) 3. 作業計画の立案 (目標 1、4、5) 4. 試作 (1) (目標 2、4、5) 5. 試作 (2) (目標 2、4、5) 6. 試作 (3) (目標 2、4、5) 7. 評価方法の検討 (目標 3、4、5) 8. 評価 (目標 3、4、5) 9. 改良 (1) (目標 3、4、5) 10. 改良 (2) (目標 3、4、5) 11. 改良 (3) (目標 3、4、5) 12. 課題解決プロセスの整理 (目標 4、5) 13. 最終報告会の準備 (1) (目標 4、5) 14. 最終報告会の準備 (2) (目標 4、5) 15. 最終報告会の準備 (3) (目標 4、5) ◎定期試験 (最終報告会)								
アクティブ・ラーニング	ペアワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション								
成績評価基準	①レポート (40%) : 意欲・関心、思考・判断を測定 ②課題 (30%) : 表現・技能、思考・判断を測定 ③プレゼンテーション (30%) : 意欲・関心、知識・理解、技能・表現を測定								
フィードバックの方法	課題を返却								
時間外の学習について	予習：次回の授業に向けて、必要な調査や制作を行う (各回 60 分) 復習：授業後にチームと自分自身の活動を振り返り、次回に向けた改善策を検討する (各回 30 分)								
教材にかかわる情報	テキスト：最新ビジネスマナーと今さら聞けない仕事の超基本、石川和男、朝日新聞出版 参考書：特になし 参考資料：特になし								
担当者からのメッセージ等実務経験について	企業経験を活かして、社会人感覚と実践力を育成する授業を行います。								

科目名	リーダーシップ論 (2単位)	講義	専攻科 デザイン専攻	後期	担当者	藤村 慎一郎 長田 和美			
ナンバリングコード	JA-S363-000								
修了要件	選択								
授業のテーマ	グローバル化・ICT・AI など急激に社会が変化中、組織のトップに求められる知識や技術、資質について考察し、リーダーシップをとれる力を身につける。								
授業概要	具体的な人物を取り上げ、彼らがどのようにリーダーシップを発揮し困難を克服したかを検証することで、リーダーシップの本質について考える。								
達成目標	<b>学修成果：リーダーシップ、コミュニケーション能力、課題解決力、変化への適応力</b>					科目 DP : (1)			
		DP 番号	(1)	(2)	(3)	(4)			
	1. リーダーの役割を理解する。			◎					
	2. 歴史上の人物が、どのようにして課題を克服したかについて理解する。			◎					
	3. 企業経営者が、どのような理念を持ち課題に取り組んできたかを理解する。			○	◎				
	4. グローバルな社会で求められるリーダーの資質について理解する。			◎	○				
5. 自己の確立を図り、意欲的に社会の課題に取り組む態度を身につける。		◎	○				○		
履修条件・注意事項	授業の実施方法：①面接授業のみ								
授業計画	1. リーダーシップ論を学ぶ意義 (目標 1) 2. リーダーとは (目標 1) 3. リーダーシップとフォロワーシップ (目標 1) 4. リーダーとファシリテーション (目標 1) 5. リーダーとコミュニケーション (目標 1) 6. リーダーと人材育成 (目標 1) 7. リーダーと段取り力 (目標 1) 8. オーセンティック・リーダーシップ (目標 1、5) 9. 歴史に学ぶ①日本のリーダー (目標 2) 10. 歴史に学ぶ②日本のリーダー (目標 2) 11. 歴史に学ぶ③日本のリーダー (目標 2) 12. 歴史に学ぶ④日本のリーダー (目標 2) 13. 企業経営とリーダーシップ (目標 3) 14. グローバルリーダー (目標 4) 15. アントレプレナーシップ (目標 4.5)								
アクティブ・ラーニング	グループワーク、プレゼンテーション								
成績評価基準	①各回のレポート (20%)：関心・意欲を測定 ②プレゼンテーション (40%)：関心・意欲、知識の理解度、思考力・表現力を測定 ③調査レポート (40%)：知識の理解、思考力・表現力・判断力を測定								
フィードバックの方法	授業の教材として各自のレポートを使い討議します。								
時間外の学習について	予習：授業のテーマについて予習 (各回 90 分程度) 復習：レポート作成 (各回 90 分程度)								
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料：特になし								
担当者からのメッセージ等 実務経験について									

科目名	デザイン表現 I (2 単位)	実技	専攻科 デザイン専攻	前期	担当者	渡山 賢二(実務経験) (単独)	
ナンバリングコード	JA-S321-000						
修了要件	選択						
授業のテーマ	多様な表現方法を実技(画材は要相談)を通して習得する。						
授業概要	基礎デッサン力(観察力・描写力)をベースに、多様な表現方法を実践を通して体験し、自己表現の探求方法を実践・習得する。(表現は基本平面(アナログ)※デジタル表現は要相談)						
達成目標	学修成果:専門分野の知識・技能、創造力、リーダーシップ、変化への適応力					科目 DP : (3)	
		DP 番号	(1)	(2)	(3)	(4)	
	1. デザイン表現の理解			◎			
	2. 自己表現の探求方法の習得				◎	○	
	3. 様々な表現方法の実践とその習得				◎	○	
	4. 自分の制作物の客観的な意見を説明できる。	◎	○				
5. 期限での課題制作の提出	○	◎			○		
履修条件・注意事項	使用画材は各自持参(着彩・鉛筆・木炭・筆ペン等)。デジタルツール(PCソフト)の場合は要相談(該当時間帯に教室が利用できるか確認する必要あり)①面接授業のみ						
授業計画	1. 課題制作① デザイン表現について。課題理解・エスキース・下書き(目標 1,2,3,4,5) 2. 課題制作① (続き)制作(目標 3,4,5) 3. 課題制作① 制作・課題提出(目標 3,4,5) 4. 課題制作② 前回課題の振り返り、課題理解・エスキース・下書き(目標 2,3,4,5) 5. 課題制作② (続き)制作(目標 3,4,5) 6. 課題制作② 制作・課題提出(目標 3,4,5) 7. 課題制作③ 前回課題の振り返り、課題理解・エスキース・下書き(目標 2,3,4,5) 8. 課題制作③ (続き)制作(目標 3,4,5) 9. 課題制作③ 制作・課題提出(目標 3,4,5) 10. 課題制作④ 前回課題の振り返り、課題理解・エスキース・下書き(目標 2,3,4,5) 11. 課題制作④ (続き)制作(目標 3,4,5) 12. 課題制作④ 制作・課題提出(目標 3,4,5) 13. 課題制作⑤ 前回課題の振り返り、課題理解・エスキース・下書き(目標 2,3,4,5) 14. 課題制作⑤ (続き)制作(目標 3,4,5) 15. 課題制作⑤ 制作・課題提出(目標 3,4,5)						
アクティブ・ラーニング							
成績評価基準	①制作課題の評価(60%):期限内提出厳守、制作課題の完成度 ②授業への取り組み(40%):授業内レポート提出・その内容や制作への取組						
フィードバックの方法	講評での口頭でのフィードバック、資料配布						
時間外の学習について	予習:実施したい表現方法を言語化すること。(各回 90 分程度) 復習:表現方法について調査(web や図書館等)を行う。(各回 90 分程度)						
教材にかかわる情報	テキスト:特になし 参考書:特になし 参考資料:適宜資料配布						
担当者からのメッセージ等実務経験について	様々な表現方法を実践し理解を深めてください。						



科目名	デザイン表現Ⅱ (2単位)	実技	専攻科 デザイン専攻	後期	担当者	渡山 賢二(実務経験) (単独)	
ナンバリングコード	JA-S322-000						
修了要件	選択						
授業のテーマ	多様な表現方法を実技(画材は要相談)を通して習得する。						
授業概要	基礎デッサン力(観察力・描写力)をベースに、多様な表現方法を実践を通して体験し、自己表現の探求方法を実践・習得する。(表現は基本平面(アナログ)※デジタル表現は要相談)						
達成目標	学修成果:専門分野の知識・技能、創造力、リーダーシップ、変化への適応力					科目DP:(3)	
		DP番号	(1)	(2)	(3)	(4)	
	1. デザイン表現の理解			◎			
	2. 自己表現の探求方法の習得				◎	○	
	3. 様々な表現方法の実践とその習得				◎	○	
	4. 自分の制作物の客観的な意見を説明できる。	◎	○				
5. 期限での課題制作の提出	○	◎			○		
履修条件・注意事項	使用画材は各自持参(着彩・鉛筆・木炭・筆ペン等)。デジタルツール(PCソフト)の場合は要相談(該当時間帯に教室が利用できるか確認する必要あり)①面接授業のみ						
授業計画	1. 課題制作① デザイン表現について。課題理解・エスキース・下書き(目標1,2,3,4,5) 2. 課題制作① (続き)制作(目標3,4,5) 3. 課題制作① 制作・課題提出、講評(目標3,4,5) 4. 課題制作② 前回課題の振り返り、課題理解・エスキース・下書き(目標2,3,4,5) 5. 課題制作② (続き)制作(目標3,4,5) 6. 課題制作② 制作・課題提出、講評(目標3,4,5) 7. 課題制作③ 前回課題の振り返り、課題理解・エスキース・下書き(目標2,3,4,5) 8. 課題制作③ (続き)制作(目標3,4,5) 9. 課題制作③ 制作・課題提出(目標3,4,5) 10. 課題制作④ 前回課題の振り返り、課題理解・エスキース・下書き(目標2,3,4,5) 11. 課題制作④ (続き)制作(目標3,4,5) 12. 課題制作④ 制作・課題提出、講評(目標3,4,5) 13. 課題制作⑤ 前回課題の振り返り、課題理解・エスキース・下書き(目標2,3,4,5) 14. 課題制作⑤ (続き)制作(目標3,4,5) 15. 課題制作⑤ 制作・課題提出、講評(目標3,4,5)						
アクティブ・ラーニング							
成績評価基準	①制作課題の評価(60%):期限内提出厳守、制作課題の完成度 ②授業への取り組み(40%):授業内レポート提出・その内容や制作への取組						
フィードバックの方法	講評での口頭でのフィードバック、資料配布						
時間外の学習について	予習:実施したい表現方法を言語化すること。(各回90分程度) 復習:表現方法について調査(webや図書館等)を行う。(各回90分程度)						
教材にかかわる情報	テキスト:特になし 参考書:特になし 参考資料:適宜資料配布						
担当者からのメッセージ等実務経験について	様々な表現方法を実践し理解を深めてください。						

科目名	デザイン研究 I (2単位)	講義	専攻科 デザイン専攻	前期	担当者	前田 和也(実務経験) (単独)	
ナンバリングコード	JA-S323-000						
修了要件	選択						
授業のテーマ	課題を自ら設定し、デザインで課題解決を図る。						
授業概要	調査に基づきテーマを設定し、テーマに沿った作品制作と、作品に関するプレゼンテーションを行う。						
達成目標	学修成果：専門分野の知識・技能、創造力、リーダーシップ、変化への適応力					科目 DP : (3)	
		DP 番号	(1)	(2)	(3)	(4)	
	1. 地域や社会の課題を調査し、デザインで解決する課題を設定できる。				◎		
	2. デザインコンセプトを策定し、他者に伝えることができる。				◎		
	3. コンセプトに基づき、作品制作ができる。	○			◎	○	
4. 作品に関するプレゼンテーションができる。			◎				
履修条件・注意事項	授業の実施方法：①面接授業のみ						
授業計画	1. デザイン研究の意義 (目標 1) 2. 課題調査① (目標 1) 3. 課題調査② (目標 1) 4. 課題設定 (目標 1) 5. コンセプト検討 (目標 2) 6. コンセプトに関するプレゼンテーション (目標 2,4) 7. 作業計画の立案 (目標 3) 8. アイディアスケッチ (目標 3) 9. 作品制作① (目標 3) 10. 作品制作② (目標 3) 11. 作品制作③ (目標 3) 12. 作品制作④ (目標 3) 13. 作品制作⑤ (目標 3) 14. 作品のプレゼンテーション (目標 4) 15. 振り返り (目標 4)						
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション						
成績評価基準	①授業内レポート (50%)：意欲・関心を測定 ②課題 (25%)：表現・技能を測定 ③プレゼンテーション (25%)：思考・判断を測定						
フィードバックの方法	授業内レポートを返却						
時間外の学習について	予習：地域や社会の課題に目を向けて、解決方法を検討する (各回 90 分程度) 復習：授業を振り返り、対策と計画を立てる (各回 90 分程度)						
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料：特になし						
担当者からのメッセージ等 実務経験について	課題についての質問や報告はメールにて。 E-Mail : t0014@yamaguchi-jca.ac.jp デザイナー経験：いままでの業務経験から実践的なデザインのテクニックやデータの作成方法のコツを交えて話をします。						

科目名	デザイン研究Ⅱ (2単位)	講義	専攻科 デザイン専攻	後期	担当者	前田 和也(実務経験) (単独)
ナンバリングコード	JA-S324-000					
修了要件	選択					
授業のテーマ	課題を自ら設定し、デザインで課題解決を図る。					
授業概要	調査に基づきテーマを設定し、テーマに沿った作品制作と、作品に関するプレゼンテーションを行う。					
達成目標	学修成果：専門分野の知識・技能、創造力、リーダーシップ、変化への適応力				科目 DP : (3)	
		DP 番号	(1)	(2)	(3)	(4)
	1. 制作物に関する第三者評価を行う。				◎	
	2. 評価結果を分析し、改善策を提案する。		○		◎	○
	3. 改善策に基づき、制作物の修正を行う。		○		◎	○
4. 評価・分析結果に基づき、作品に関するプレゼンテーションができる。		○	◎			
履修条件・注意事項	授業の実施方法：①面接授業のみ					
授業計画	1. デザイン評価の目的 (目標 1) 2. 評価方法の検討① (目標 1) 3. 評価方法の検討② (目標 1) 4. 評価環境の構築 (目標 1) 5. 評価計画 (目標 1) 6. 評価実施 (目標 2) 7. 評価結果の分析 (目標 2) 8. 改善策の提案 (目標 2) 9. 制作① (目標 3) 10. 制作② (目標 3) 11. 制作③ (目標 3) 12. 制作④ (目標 3) 13. 制作⑤ (目標 3) 14. 作品のプレゼンテーション (目標 4) 15. 振り返り (目標 4)					
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション					
成績評価基準	①授業内レポート (50%)：意欲・関心を測定 ②課題 (25%)：表現・技能を測定 ③プレゼンテーション (25%)：思考・判断を測定					
フィードバックの方法	授業内レポートを返却					
時間外の学習について	予習：地域や社会の課題に目を向けて、解決方法を検討する (各回 90 分程度) 復習：授業を振り返り、対策と計画を立てる (各回 90 程度)					
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料：特になし					
担当者からのメッセージ等 実務経験について	課題についての質問や報告はメールにて。 E-Mail : t0014@yamaguchi-jca.ac.jp デザイナー経験：いままでの業務経験から実践的なデザインのテクニックやデータの作成方法のコツを交えて話をします。					

科目名	Web デザイン特論 (2単位)	演習	専攻科 デザイン専攻	前期	担当者	前田 和也(実務経験) (単独)	
ナンバリングコード	JA-S325-000						
修了要件	選択						
授業のテーマ	Web で使うプログラムの理解と活用						
授業概要	Web でよく使われている PHP と MySQL を使い、サーバーサイドで動作するプログラムを組み立て、ウェブアプリケーションを作成してみる。						
達成目標	<b>学修成果：専門分野の知識・技能、創造力、リーダーシップ力、変化への適応力</b>					科目 DP : (3)	
		DP 番号	(1)	(2)	(3)	(4)	
	1. Web サーバー、データベースサーバーなどの仕組みの理解			○	◎		
	2. Web 上で動作するプログラムの種類や特性を理解			○	◎		
	3. JavaScript によるプログラミングを習得				◎	○	
	4. PHP プログラミングを習得				◎	○	
5. SQL を使ったデータベース操作を習得				◎	○		
履修条件・注意事項	HTML や CSS などウェブページを表現するスキルがある程度理解できていることが必要です。 授業の実施方法：①面接授業のみ						
授業計画	1. Web プログラミングとは (ガイダンス) (目標 1,2) 2. Web サーバーからコンテンツが届く仕組み (目標 1,2) 3. プログラム開発環境を整える 1 (目標 1,2) 4. プログラム開発環境を整える 2 (目標 2,3) 5. JavaScript と Ajax (目標 2,3) 6. PHP プログラムの基本 (目標 2,4) 7. PHP プログラムを作成 1 (目標 4) 8. PHP プログラムを作成 2 (目標 4) 9. PHP プログラムを作成 3 (目標 4) 10. データベースとは (目標 5) 11. MySQL の操作 (目標 5) 12. SQL でデータ操作 (目標 5) 13. プログラムで DB を操作する (目標 4,5) 14. フォームから DB に登録するプログラムを制作 1 (目標 4,5) 15. フォームから DB に登録するプログラムを制作 1 (目標 4,5)						
アクティブ・ラーニング							
成績評価基準	①制作課題 (75%) : 思考・判断・表現技術を測定 ②授業中の取組姿勢 (25%) : 関心・意欲の測定						
フィードバックの方法	進行の段階ごとに、授業にて受講者と作品を共有しながらフィードバックする						
時間外の学習について	予習：次回講義内容について調べる。(各回 90 分) 復習：授業で出した課題について進めておく。(各回 90 分)						
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料：特になし						
担当者からのメッセージ等実務経験について	課題についての質問や報告はメールにて。 E-Mail : t0014@yamaguchi-jca.ac.jp デザイナー経験：いままでの業務経験から実践的なコーディングのテクニックやプログラムの作成方法のコツを交えて話をします。						

科目名	プロダクトデザイン特論 (2単位)	演習	専攻科 デザイン専攻	後期	担当者	平川 和明 (実務経験) (単独)
ナンバリングコード	JA-S326-000					
修了要件	選択					
授業のテーマ	課題制作を通してプロダクトデザインの基本的なプロセスを理解し、調査・分析能力、発想力を習得する。さらに制作した商品について発表をおこなうことでプレゼン能力を身につける。					
授業概要	多面的な視点から生活と環境を踏まえた新たなプロダクトのデザインを発想し、木工を基礎とした身近な日用品の制作を行う。					
達成目標	学修成果：専門分野の知識・技能、創造力、課題解決力、変化への適応力					科目 DP : (3)
		DP 番号	(1)	(2)	(3)	(4)
	1. プロダクトデザインのプロセスを説明できる。				◎	○
	2. どのように思考、判断して個々の作品制作に至ったかを説明できる。			◎	○	
	3. 木工における基本的な知識と技法を理解できる。				○	◎
	4. 主体的に制作活動に取り組むとともに、周囲への配慮、協力ができる。		◎	○		
5. 多面的な視点から発想ができる。				○	◎	
履修条件・注意事項	授業の実施方法：①面接授業のみ					
授業計画	1. ガイダンス (目標1) 2. プロダクトデザインについて (目標1) 3. 市場調査 (目標1,2) 4. プランニング、コンセプト設定 (目標1,2,5) 5. デザイン展開 (目標1,2,5) 6. 製図、模型制作 (目標1,4) 7. 課題制作① 材取り (目標1,3,4) 8. 課題制作② 部材機械加工 (目標1,3,4) 9. 課題制作③ 部材手加工 (目標1,3,4) 10. 課題制作④ 部材仕上げ (目標1,3,4) 11. 課題制作⑤ 組み立て (目標1,3,4) 12. 課題制作⑥ 塗装 (目標1,3,4) 13. プレゼン資料作成① 物撮り (目標1,4,5) 14. プレゼン資料作成② パワーポイント (目標1,4,5) 15. プレゼンテーション、講評 (目標1,2)					
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション、グループワーク					
成績評価基準	①授業態度 (30%)：授業に取り組む意欲を授業態度から測定 ②課題作品 (50%)：アイデア発想力や技能を作品の完成度により測定 ③発表 (20%)：プレゼンテーションの内容でプロダクトデザインの理解度を測定。					
フィードバックの方法	作品の講評、プリント資料の配布					
時間外の学習について	予習：授業内容に沿ってその都度指示。(各回90分) 復習：授業内容に沿ってその都度指示。(各回90分)					
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：「プロダクトデザインの基礎」 日本インダストリアルデザイナー協会編 発行・発売：ワークスコーポレーション 参考資料：適宜配布					
担当者からのメッセージ等実務経験について	家具デザイン・開発の経験：プロダクトデザインの造形と機能性について講義をおこない、商品開発におけるアイデアの生み出し方、実践的な技術を伝えます。					

科目名	映像音楽研究 (2単位)	演習	専攻科 デザイン専攻	後期	担当者	小野 隆洋 (単独)	
ナンバリングコード	JA-S341-000						
修了要件	選択						
授業のテーマ	音楽鑑賞、映像音楽、音楽のスタイル、豊かな感性、創造力、表現力						
授業概要	映像を伴う音楽作品を取り上げ、音楽の特徴や種類について理解を深めるとともに、映像と音楽の関連性について考察する。						
達成目標	学修成果：学修成果：専門分野の知識・技能、リーダーシップ、創造力、変化への適応力					科目 DP : (3)	
		DP 番号	(1)	(2)	(3)	(4)	
	1. 映像を伴う音楽について、作品の意図を理解する。			○	◎		
	2. 映像を伴う音楽について、曲の特徴を理解する。				◎	○	
	3. 映像を伴う音楽について、音楽の種類を理解する。				◎	○	
	4. 映像と音楽の関連性を理解する。	○			◎	○	
5. 映像に見合った音楽を選択できる。	○			◎	○		
履修条件・注意事項	授業の実施方法：①面接授業のみ						
授業計画	1. 映像音楽研究に関する全般的な知識 (目標 4) 2. ミュージカル作品の鑑賞① (目標 1,2,3) 3. ミュージカル作品の鑑賞② (目標 1,2,3) 4. オペラ作品の鑑賞① (目標 1,2,3) 5. オペラ作品の鑑賞② (目標 1,2,3) 6. アニメ作品の鑑賞① (目標 1,2,3) 7. アニメ作品の鑑賞② (目標 1,2,3) 8. 映像を伴う音楽の特徴と種類① (目標 2,3) 9. 映像を伴う音楽の特徴と種類② (目標 2,3) 10. 曲の特徴と音楽の様式① (目標 2,3,4) 11. 曲の特徴と音楽の様式② (目標 2,3,4) 12. 映像と音楽の関連性① (目標 1,2,3,4) 13. 映像と音楽の関連性② (目標 1,2,3,4) 14. 映像に見合った音楽の選曲① (目標 1,2,3,4,5) 15. 映像に見合った音楽の選曲② (目標 1,2,3,4,5)						
アクティブ・ラーニング	グループディスカッション、プレゼンテーション						
成績評価基準	評価の方法：①授業への取り組み (30%) ②演習課題 (70%) により総合的に評価する。 評価の基準：①関心・意欲：音楽鑑賞・表現活動に関心・意欲をもって積極的に活動できる。 ②知識・技能、思考・判断：学んだ知識・技能を活かして効果的に表現できる。						
フィードバックの方法	各回の受講者の発表に対して、個別の助言を行う。						
時間外の学習について	予習：授業で扱われる時代の音楽を鑑賞しておくこと。(各回 90 分程度) 復習：授業で行った内容について復習しておくこと。(各回 90 分程度)						
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料：各回に適宜プリントを配布する						
担当者からのメッセージ等 実務経験について	様々な映像音楽に触れて、映像と音楽の関連性について追及しましょう。						

科目名	メディアアート研究 (2単位)	演習	専攻科 デザイン専攻	前期	担当者	矢野 節 (実務経験) (単独)
ナンバリングコード	JA-S381-000					
修了要件	選択					
授業のテーマ	メディアアート作品の制作を通して、リーダーシップ、コミュニケーション能力、専門分野の基礎的知識・技能を身につける。					
授業概要	学生が主体となって、デザインや言葉、音楽などを用いた創造性豊かなメディアアート作品を協働して制作し、発表を行う。					
達成目標	学修成果：専門分野の知識・技能、創造力、課題解決力、リーダーシップ、変化への適応力				科目 DP : (3)	
	DP 番号	(1)	(2)	(3)	(4)	
	1. メディアアートについて深く理解する。			◎		
	2. 作品制作に必要なソフトウェア (Adobe After Effects 等) の操作方法を修得する。			◎		
	3. 本学科で学んだことを活かして、主体的にコンテンツ制作ができる。	○	○	◎		
	4. 情報技術と映像を活用して、観覧者が楽しめる空間をつくる。			◎		
5. リーダーとしてグループワークに取り組み、変化への適応力を身につける。	◎	◎			○	
履修条件・注意事項	授業の実施方法：①面接授業のみ					
授業計画	1. ガイダンス (目標 1) 2. 制作する作品について、具体的な内容を検討する (目標 1,3,5) 3. 表現手法、及び構成について、検討する (目標 1,3,5) 4. 役割分担、制作スケジュールを決定する (目標 1,5) 5. 必要なソフトウェアの操作修得 (目標 2) 6. 絵コンテ制作 (目標 4) 7. 作品制作 (目標 2,4) 8. 中間発表 (目標 5) 9. 作品制作 (目標 2,4) 10. 会場設営、準備計画を立てる (目標 1~5) 11. リハーサル (目標 1~5) 12. 作品の修正 (目標 1~4) 13. 会場設営、準備を行う (目標 1~4) 14. 発表または展示 (目標 1~5) 15. 反省、次年度に向けての課題 (目標 4,5)					
アクティブ・ラーニング	ディスカッション、グループワーク					
成績評価基準	①授業態度 (40%) : 関心・意欲・態度を測定 ②グループ活動 (30%) : グループ活動における貢献度、及び他者との協働性を測定 ③授業内での制作作品 (30%) : 専門分野における知識・技能を測定					
フィードバックの方法	各回の成果物について、口頭によるフィードバックを行う。					
時間外の学習について	予習：次回の授業の準備、作品制作 (各回 90 分) 復習：各回で学んだことの理解を深め、応用できるように練習する (各回 90 分)					
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料等：特になし					
担当者からのメッセージ等実務経験について	協働して1つの作品を作り上げていくことの難しさ、楽しさを体験してもらいたと思います。					

科目名	修了研究 (4単位)	演習	専攻科 デザイン専攻	前後期	担当者	学科長、他 (複数担当)
ナンバリングコード	JA-S382-000					
修了要件	必修					
授業のテーマ	学びの集大成として、修了制作、修了研究、修了演奏に取り組み、効果的な展示や発表を行う。					
授業概要	各自が設定したテーマについて研究し、制作、発表をする。 授業はゼミ形式で、教員や他の学生とのディスカッションを通して自身の考えを深め、研究・制作の質を高める。 研究成果を論文にまとめ、最終成果を修了制作展・演奏会で発表する。					
達成目標	<b>学修成果：専門分野の知識・技能、創造力、課題解決力、リーダーシップ、変化への適応力</b>				科目 DP : (3)	
		DP 番号	(1)	(2)	(3)	(4)
	1. 自ら研究テーマを設定して、計画的に研究や制作を進めることができる。		○		◎	○
	2. テーマに関連する資料収集や調査を行い、教員や学生とディスカッションができる。			◎	○	○
	3. 専門性を活かして、創造性の高い作品や表現ができる。			○	◎	○
	4. 研究成果を論文にまとめることができる。効果的なプレゼンテーションができる。			◎	○	○
5. 来場者を魅了する展示、演奏ができる(修了制作展)。		○	○	◎	○	
履修条件・注意事項	履修条件についてはオリエンテーションで連絡する。 授業の実施方法：①面接授業のみ					
授業計画	前期)					
	1. 修了研究の意義					(目標1)
	2. 研究テーマの検討					(目標1)
	3. 研究テーマの決定					(目標1)
	4. 研究テーマに関連する資料収集、作業計画(1)					(目標2)
	5. 研究テーマに関連する資料収集、作業計画(2)					(目標2)
	6. 研究テーマに関連する資料収集、作業計画(3)					(目標2)
	7. 課題やコンセプトの設定(1)					(目標2、3)
	8. 課題やコンセプトの設定(2)					(目標2、3)
	9. 課題やコンセプトの設定(3)					(目標2、3)
	10. 調査方法や制作物の検討(1)					(目標2、3)
	11. 調査方法や制作物の検討(2)					(目標2、3)
	12. 調査方法や制作物の検討(3)					(目標2、3)
	13. 調査方法や制作物の検討(4)					(目標2、3)
	14. 中間発表の準備					(目標4)
	15. 中間発表					(目標4)
	後期)					
	1. 修了制作展	目的				(目標5)
	2. 調査、制作(1)					(目標3)
	3. 調査、制作(2)					(目標3)
	4. 調査、制作(3)					(目標3)
	5. 調査、制作(4)					(目標3)
	6. 調査、制作(5)					(目標3)
	7. 論文の要点整理					(目標4)
	8. 論文の構成					(目標4)
	9. 論文執筆					(目標4)
	10. 論文の修正					(目標4)
	11. 展示物の準備(1)					(目標4、5)
	12. 展示物の準備(2)					(目標4、5)
	13. 発表の準備(1)					(目標4、5)
	14. 発表の準備(2)					(目標4、5)
	15. 発表の準備(3)					(目標4、5)
	◎定期試験(修了研究発表会)					



アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション、グループディスカッション
成績評価基準	①授業態度 (30%) : 関心・意欲、思考・判断を測定 ②中間発表 (20%) : 知識・理解、技能・表現を測定 ③展示・発表・論文の完成度 (50%) : 技能・表現を測定
フィードバックの方法	1週間の取り組みに対して、授業内でフィードバックする。
時間外の学習について	予習：テーマに関する社会動向や作品に関心・意欲を持ち、調査・分析を行う。(各回90分) 復習：授業で得たアドバイスを基に研究や制作、演奏を行い、完成度を高める。(各回90分)
教材にかかわる情報	テキスト：特になし 参考書：特になし 参考資料：随時、プリント等で配布
担当者からのメッセージ等 実務経験について	

〒754-0032 山口県山口市小郡みらい町一丁目7番1号

電話(083)972-2880

FAX(083)972-4145

URL <https://www.yamaguchi-jca.ac.jp>